

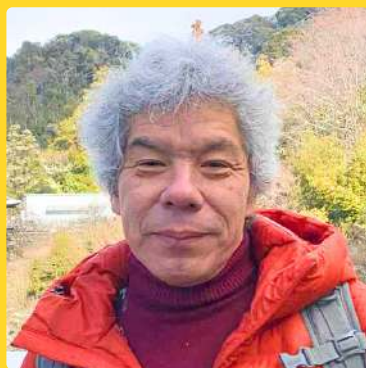


# ミツバチは

## 気難しいポリネーターが

「受粉の媒介者」

ミツバチは作物の受粉を担う昆虫の中でも多種多様な花を利用しますが、「もっと働いてほしい」という声もあります。本講演では、花の違いとミツバチの好み・得意不得意を踏まえ、受粉の場面でミツバチにどう働いてもらえるのかを考えます。



講師

中村 純 氏

玉川大学 名誉教授

元玉川大学農学部教授、同大学術研究所ミツバチ科学研究センター教授。農学博士。専門は養蜂学。現在も日本養蜂協会の講習会講師やみつばち協会が推進する養蜂GAPの普及などに努める。

2026年

3月10日 (火)

第1部 14:00～15:30

第2部 15:30～16:00

会場

出羽庄内国際村1階 国際村ホール  
鶴岡市伊勢原町8-32

定員

先着100名【要申込み】

定員に達し次第、受付を締め切ります

費用

参加費無料

主催

鶴岡食文化創造都市推進協議会 (担当:馬場)

TEL 0235-35-1185 MAIL ai@creative-tsuruoka.jp

### 第1部 特別講演

野菜や果樹の安定した受粉に欠かせないミツバチ。好き嫌いや特性を知り、圃場で活かすためのポイントを学びます。



### 第2部 情報交換会

講演後、庄内の現場で感じている受粉・ミツバチの課題を持ち寄り、先生のお話を伺いながら、参加者同士でも情報交換します。

### 申込みフォーム

お申し込みは、下記フォームよりお願いいたします。

申込締切  
3月2日 (月)



「つるおか在来作物未来継承ネットワーク交流会」は、生産者の横の繋がり、料理人・有識者など関係者との繋がりを構築し、ともに課題解決に取り組むことで在来作物の生産維持・需要創出を図ることを目的に開催しています。